

「国民健康保険の保健施設事業の助成等の通知について」

愛知県歯科医師会専務理事 坂井 剛

平成9年から地域保健法の施行ということになりまして、いろんな保健事業が市町村単位の事業に転換をされる。そこで、これまでの保健所の仕事と市町村の保健センターの仕事が役割分担を整えまして、新たに高齢化社会に向かったの住民の健康増進のための事業を進めるということになっております。我々はそこへ焦点を合わせまして、その時点で地域の市町村レベルでの歯科保健事業が十分に行われるような準備をする必要があるわけでございます。

具体的に、現在、先ほど来お話が出ております岩手県と愛知県でやっておりますヘルス・バイオニア・タウン事業についての考え方とパスポートの説明をちょっとだけさせていただきます。

6歳臼歯といいますのは、早い子では4歳から生え始めまして、大体4本生えそろうのに、小学校の3年生ぐらいまでかかります。大体5年ぐらいの期間で生えそろっていくということがございます。特に、6歳臼歯の重要性というの、ここにお集まりの方は皆さん御存じのこととございますので省きますが、これを守るというのが一つの8020への達成の近道であるといえますか、非常にこれがポイントになるということがはっきりと言えるかと思えます。そこで、これを子供さんとお母さん、それと歯科医と行政、これが一緒になって子供の健康づくりをしていこうというのが基本的な考え方とございます。したがって、保護し、育成していこうというのが、この保護育成運動の意味合いとございます。

ねらいとしておりますのは、6歳臼歯を守り切るということは当然でございますが、それと同時に、家庭での健康的な生活習慣をこの時期にしっかりと身につけさせよう、個人も含めて家庭での健康的な生活がどうあるべきかということ、この事業を通して健康づくりの基礎をつくっていただくということが大きなねらいになっております。したがって、6歳臼歯の生え始めから、家庭でもってお母さんと子供と一緒にそれを探して、それで歯医者さんと協力してそれを守る。それがちゃんと行われているかどうかは、これから事業が始まります市町村の保健センターの方がきちっとそれを管理していくというような形になると思えます。

管理台帳というのは、保健センターの方の仕事として、これをしっかりと整えていくということがございます。それから、歯の健康パスポートというものを用意する。これは、資料として入れてございますので、後ほど御説明します。それから、歯の健康カレンダーというものをつくって家庭でチェックをしていただくというような3本立ての、三者が関連したシステムを考えてあります。

健康パスポートの方でございますが、黄色い表紙の「歯のパスポート」というものをつくってございます。「6歳臼歯は8020への道しるべ」というような副題が入っております。これは、当初、事業を考えましたときに、厚生省の母子衛生課、今は母子保健課でございます

が、田中先生の御指導もいただき、また、歯科衛生課の方にも何度も見ていただきながら、これをつくり上げたものでございます。一見していただくと、そのままわかっていただけると思いますが、これを、当初、お母さんに使用方法をきちっと説明をしていただきまして、個々の子供の写真を張って、名前を自筆で書いていただいて、これで6歳白歯を守りましょうねということで始めるわけでございます。シーラントの効果は、御存じのとおりでございますが、それで、6ページの管理票というところを見ていただきますと、その管理がわかると思いますけれども、出始めから1本ずつ、萌出の発見日、シーラントを処置した日を記入するようになっております。これに沿っていきますと、先ほど来の評価ということも、このパスポートを使ってやっていくということができるようになっております。

それから、指導項目というのが、その次の7ページに5項目挙げてございます。これはカリエスの抑制因子といいますか、ここのところをきちっとすれば抑えがきくよというようなものだけ、代表的なものを5項目挙げたということで、これは、お母さんに対してきちっと指導をし、その日付と内容を書き込んでいくといったような形になっております。8ページは6歳白歯のカレンダーということになっておりまして、毎月8の日を歯の日として、お母さんが子供の口の中をのぞいてあげる、見てあげるというようなことで、これを使っていただくと。最後の9ページには、全部生えそろった段階で、パスポートの終了証を差し上げる。私どもの経験では、8020の達成者の表彰式、非常にこれは喜んでいただきます。とにかく住民の方は褒めていただくのをみんな喜びます。我々も褒めたいと思います、よくやっていただいたと。そんなことで、ヘルス・パイオニア・タウン事業には載りませんが、ぜひともそういったことを市町村レベルの事業では中に入れてやっていただくといいのではないかとこのように考えます。